

犬山市立犬山西小学校で防災講座を行いました

11月27日（水）、犬山市立犬山西小学校で5・6年生164名に防災講座を行いました。犬山市における防災講座は今回が初めてです。

犬山市でも被害があった伊勢湾台風や東海豪雨など過去に発生した水害を学習しました。1868年（明治元年）の入鹿切れは、多くの児童が知っていました。

学校のすぐ北側には木曾川が流れ、垂直避難の訓練も実施しているそうです。また、5年生はちょうど理科の単元で「水の流れる働き」を勉強していると伺いました。

代表の児童からは、「水害で家が壊れたり、人が亡くなったりするので、早めの避難や準備が大事なことが分かりました。」「実験やシミュレーションなどを見て、事前の準備や備えが大切なことが分かりました。」と感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

